

P 33 深海鮫エキスの肝疾患に対する治療効果

林 雅之 (弘邦医院)

〈目的〉

17例の様々な肝疾患に対して「深海鮫エキス マリンゴールド」を投与し、4か月という短期間の調査ではあるが有用と思われる結果が認められたので報告する。

〈方法〉

C型慢性肝炎5例、B型慢性肝炎1例、脂肪肝7例、アルコール性肝障害2例、肝硬変1例、肝癌1例の合計17例に対しマリンゴールド1日9カプセルを経口投与し、4か月たった時点での肝機能等への有用性を調べた。

〈成績〉

C型慢性肝炎5例中、1例は2ヵ月後から、2例は4ヵ月後にGOT、GPTが改善してきた。HCV-RNAは不変だった。B型慢性肝炎は4ヵ月間特に変わりなし。脂肪肝7例中2例は2ヵ月後から、2例が3ヵ月後から1例が4ヵ月後から改善し始め、2例は不変であった。2例のアルコール性肝障害のうちの1例は飲酒をやめたためか1ヵ月後には改善した。他の1例は飲酒を同様に続けているが4ヵ月後には改善し始めている。1例の肝硬変では4ヵ月後に血小板、CHE、A/G比の軽度の改善が見られた。肝癌では肝機能、AFPは不変であるが細胞性免疫を現すCD4/8比の改善がみられた。

〈結論〉

4ヶ月間という短い期間であり、また血液検査の結果はその自然の経過、他の要因の影響などもあり一概に結論付けることはできないが、悪化例は1例もなく、現時点では有用と考えられ、これからも更なる改善が期待できそうである。